

全銀EDIシステムの紹介

平成31年3月13日（水）

＜スマートSME（中小企業）研究会＞

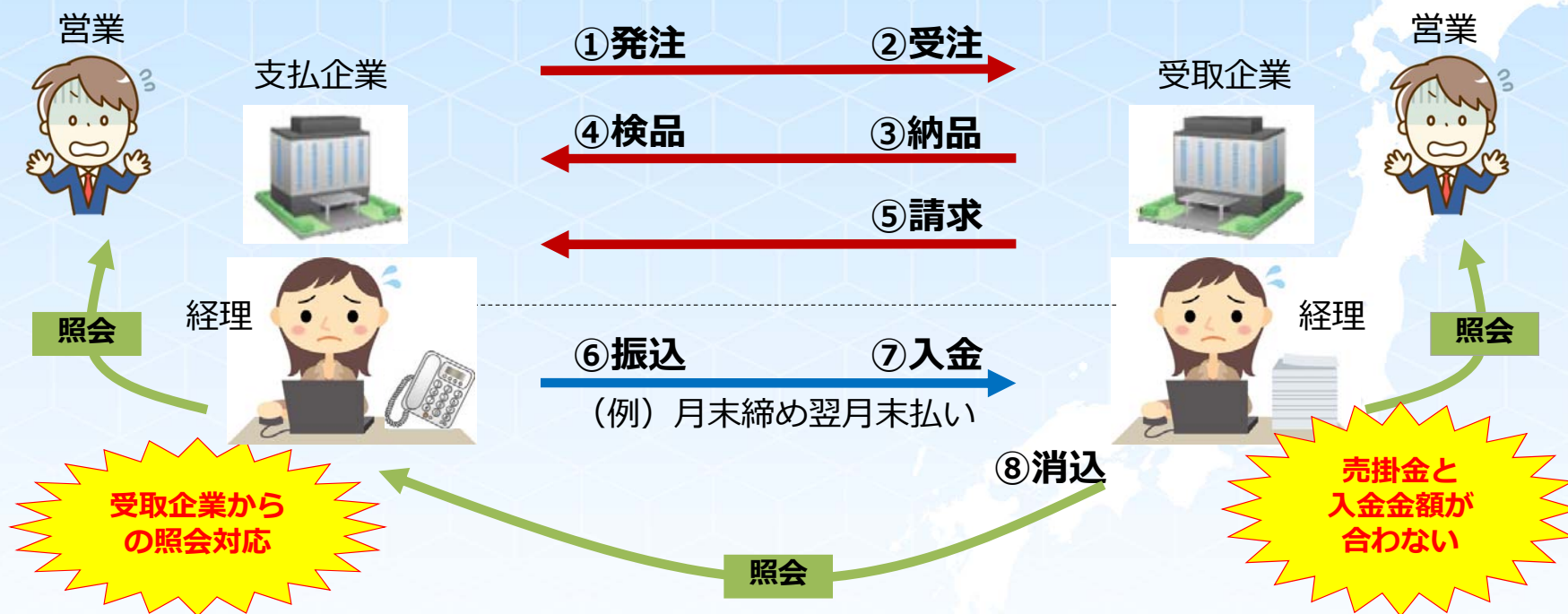
全銀EDIシステム紹介



マスコットキャラクター「ゼディくん」

2018年12月25日午前8時から、
「全銀EDIシステム」
(愛称：ZEDI (ゼディ)) が
稼動を開始しました！

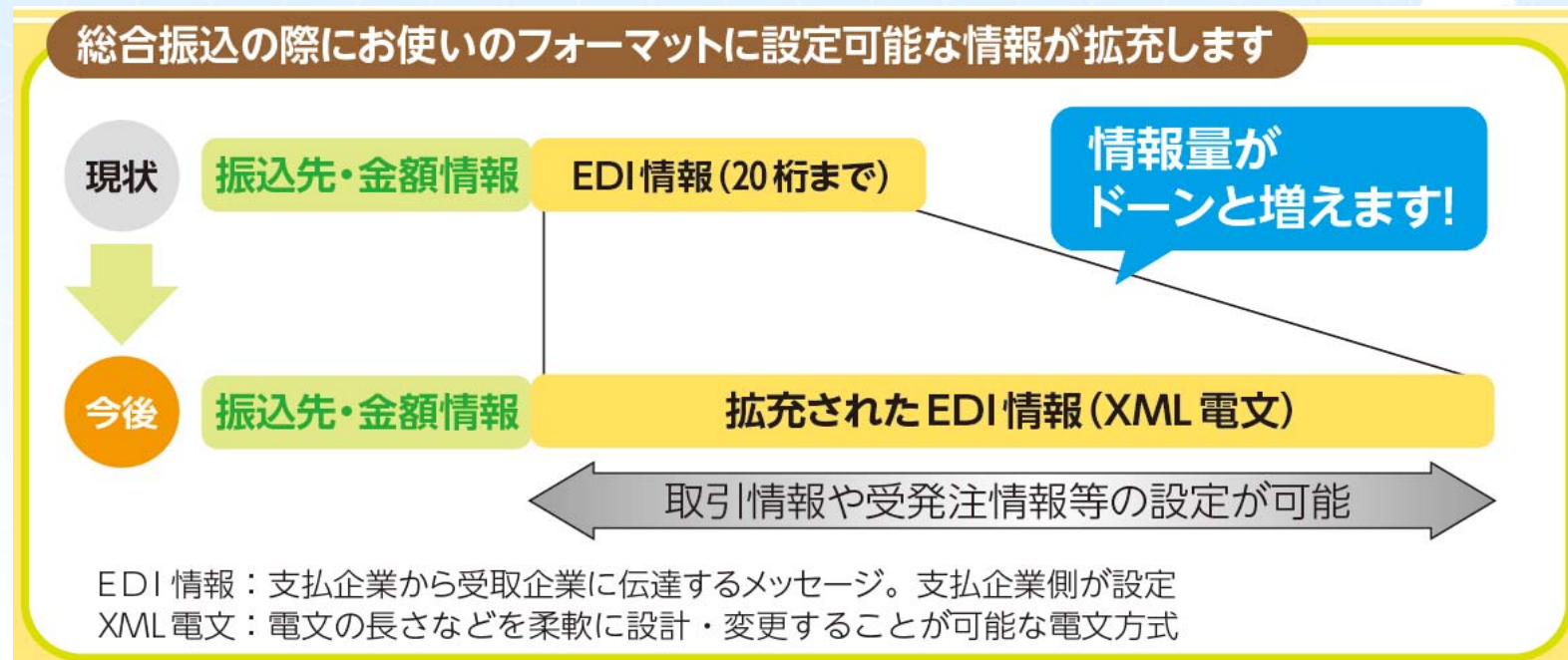
売掛金等の消込の現状



- 企業の多くが複数の商取引の代金を合算して支払い（振込）。
- 受取企業側で認識している回収金額（売掛金）と、実際の入金金額が合わないケースがある。その場合、営業担当や支払企業に照会するなどにより原因を調査する必要がある。

ZEDIによるEDI情報の拡張

- ZEDIとは、企業間の振込電文を金融取引における次世代の国際標準であるXML電文（ISO20022）へ移行し、EDI情報の拡充に対応するためのシステム。
- ZEDIを利用することにより、支払企業から受取企業に振込を行う際に、さまざまなEDI情報（支払通知番号・請求書番号など）が添付可能となります。



ZEDIの期待効果①～業務効率化・生産性向上～



支払企業も受取企業も、
経理業務の効率化と生産性向上が実現できます！



情報を
添付

問合せ対応負担軽減

受取企業の事務負担
6割減！

※(出所)一般財団法人流通システム開発センター
共同実証の結果報告資料(2014年12月)

消込業務が効率化

ZEDIの期待効果②～EDI情報の活用策～

アイデア1：電子領収書としての利用

電子領収書には以下のようなメリットがあります。

【支払企業】

- ・領収書の保管コストの軽減
- ・領収書の管理負荷の軽減



【受取企業】

- ・印紙税が不要
- ・領収書作成・郵送のコストの削減



アイデア2：取引金融機関による新たなサービスの提供

金融EDI情報を活用することで、企業様に様々なサービスを提供可能と考えております。

想定事例1

コンサルタント機能や
提案活動

想定事例2

ビジネスの将来予測や
業界動向の分析

想定事例3

取引情報分析による
小口融資等

ZEDIを利用するためには～お客さまのご対応事項～

<現在の振込方法>

ファームバンキング（FB）・
インターネットバンキング
（IB）をご利用のお客さま

<対応事項>

ZEDIに対応した**通信ソフト**
ウェアや**会計ソフトのバージョン**
アップ等をお願いします!!

ATM・銀行窓口・ファクシミリを
ご利用のお客さま

ZEDIに参加している金融
機関が提供する**FB・IBの**
導入をお願いします!!

ZEDIが
ご利用いただけます



詳しくは、お取引金融機関までお問い合わせください

加盟銀行の参加状況

全銀システム加盟銀行 (2018年11月末現在)

	清算参加者数 (直接接続参加)
都市銀行	5
地方銀行	64
第二地方銀行協会加盟銀行	40
信託銀行	9
外国銀行	7
その他銀行※	15
銀行計	140
信金中央金庫	1
全国信用協同組合連合会	1
労働金庫連合会	1
農林中央金庫	1
合計	144

※ネット系銀行・流通系銀行・商工中金・ゆうちょ銀行など。

ZEDIの参加状況

全銀システム加盟銀行144行のうち、個人顧客がメインの金融機関や資産管理がメインの金融機関などを除いた121行の76%にあたる92行（信用金庫や信用組合などの業態は業態単位で1行とカウント）が、サービス提供開始当初から参加。

サービス提供開始以降も、準備が整い次第参加する金融機関があるため、参加金融機関は今後も拡大。

～全銀EDIシステムの稼動を迎えて～



企業の皆さま!
ZEDIをご利用いただき、
経理業務の効率化と
生産性向上に
お役立てください!!

ありがとうございました